



鳥取こども学園 学園だより

第 28 号

2010年12月1日

○発行
鳥取市立川町5丁目417番地
鳥取こども学園後援会
電話 (0857) 22-4206
<http://www.tottorikodomogakuen.or.jp/>
○振込口座
郵便振替 01490-9-9106
題字 尾崎悌之助

皆様の様々な御厚志に深く感謝しながら 内部改革を進めていく風土づくりに邁進

鳥取こども学園希望館

館長 竹本 芳宏

光陰矢のごとしと申しますが、早いものでもう師走となり、なんとなく慌ただしい時期となりました。

学園ではこの時期を迎えると恒例のクリスマス祝会の準備をしながら職員も子どもも今年の総決算をし、新しい年を迎える準備を進めますが、この一年間に実に多くの方々から様々な御厚志を賜りました。ご支援を賜りました皆様に紙面にて失礼ながら改めて感謝と御礼を申し上げます。

特に、昨年この時期は、日本一の体制を確立したものの大幅な赤字が予想されたことから、皆様に窮状を訴え、多くの皆様のご援助により何とか乗り切ることが出来たことを思い起こしますと同時に、改めて学園の歴史の重さを感じることができた一年でした。

とは言っても、日本一の体制を維持しようとするれば、再び皆様に多大のご心配とご援助をお願いすることになるのは必至であるため、法人事務局会議で大議論の結果、本年度は養護ホームを一つ減らして大幅な

赤字要因をなくして出資すると共に、内部改革の一環として昨年設置した「学園の将来を考える二つのプロジェクト」のうち「給与制度改革プロジェクト」の検討を急ぎ、本年の四月に遡って給与制度改革を断行し、新給与制度に移行しました。

もう一つは、これまでは半ば事務職員に任せきりになっていた財務状況の改善に、主任以上の幹部職員が主体的に関わる必要があるとして設置した「財務分析プロジェクト」で、「これまでにバランスシートの見方や措置費分析などを通じて、経理面からみた運営改善の勉強を進めてまいりましたが、近くその成果を全職員を対象にした勉強会で発表してみんなで理解を深めるとともに、無駄のない運営を目指すなど内部改革を進める風土づくりに取り組んでまいりました。

最近の情勢の変化は目まぐるしく、



「浩の会」稲刈り招待

対応も臨機応変さが求められますが、子どもも最善の利益を追求していくためにも、絶えず内部改革を進めて行く風土づくりに大切にして行きたいものと考えています。引き続きご支援ください。来る元年が皆様にも学園にも良い年になることを祈念します。



法人本部

常務理事

藤野 興 一 記

引き続き、法人財政基盤強化と、公的
制度改革が急務です。ご支援ください！

① 私たちは、「学園創立の精神に立ち
返り、制度に子どもを合わせるのではなく、
あくまでも子どもが最善の利益を求め続
けよう。」と、国の施設整備基準を大幅
に上回るホームを次々に建て、国の基準
を大幅に上回る職員配置をして、日本で
もトップレベルの「子どものための総合
施設」を作り上げてきました。

② この体制は役職員の創立の精神に支
えられた努力もさることながら、本当に
多くの方々の物心両面からのご支援の賜
物と、改めて感謝申し上げます。

特に、昨年末の新聞報道以来、多くの
皆様に「心配いただき、児童養護施設七
ホームを六ホームに減らさざるを得なかつ
た」といえ、お陰さまで、新たに「こ
ろの発達クリニック」を加えて、子ども
たちと共に新しいクリスマスと新年を迎
えることが出来ます。感謝です。

二〇一一年度、「地域小規模児童養護
施設」開設による定員増と「里親支援機
関事業」の受託を検討中です。ご支援く
ださい！

③ 鳥取こども学園は、この少子化の時
代に、常に満員状態が続いています。特

に児童養護施設は何時も空きが無く、同
一敷地内にある乳児院からも独自に設け
ている一時保護ショートステイホームか
らも入所できない状態が続いています。

そこで来年度、国の制度にある「地域
小規模児童養護施設(定員六名)」開設に
よる現行定員四十五名から来年度五十
一名への定員増を計画しました。本園から
離れた街中の一軒家で職員三人と子ども
六人で生活するホームを創ります。

④ 昨年施行の改正児童福祉法でも里親
制度強化が盛り込まれましたが、施設の
生活単位の小規模化と里親開拓は社会的
養護改革の要です。鳥取こども学園は、
一九六〇年から小舎制に踏み切り、家庭
養護促進協会の発足に当時の指導員が関
わるなど里親開拓の面でも先駆的役割を
果たしてきました。

そこでこの度、新たに里親支援機関事
業の民間委託に際して名乗りを上げるこ
ととしました。ご支援ください。

⑤ 鳥取みどり園乳児部の改修計画につ
きましては、内外から「心配いただき
ているところですが、今年度中の設計等事
業計画が間に合わず、「改修計画推進プ
ロジェクト」を設置し、二〇一一年度補
助金申請・二〇一二年度改築完了を目指
すこととしました。

ご支援をお願いします。

児童養護施設

鳥取こども学園

暑かった夏が過ぎ、学園の銀杏の木は
今年も黄色く色づいて季節の移り変わ
りを教えてくれます。風も冷たく吹き始め、
冬の気配を感じますが、どんなに寒く
ても子どもは風の子!! 元気に外で遊び回
っています。

今回はたんぼホームとふじホームの
子ども達に、ホームで遊びに出かけた時
の思い出を書いてもらいました♪ホーム
ごとに計画を立てて旅行したり、バーベ
キューをして一日中たづねり遊んだり
と、それぞれ楽しい時間を過ごしたようです。

小豆島に行ったこと

たんぼホームのみんなとフェリーに
乗って行きました。フェリーの中は広く
座るところがいっぱいありました。座つ
て窓をのぞいてみたらしきがきれい
でした。海がとてもきれいでした。フェリー
の中でお弁当を食べました。いろんなお
かずやおにぎりをおいしく食べました。
食べたあと、いろんなところに行きまし
た。そうじゅうせきや外のながめもきれ
いでした。フェリーの中にはいろんな車
が止まっています。フェリーからおり
て車に乗って三十分くらいで泊まること

ろに着きました。キャンプ場に着いたら
荷物を置いて、車に乗って海まで行きま
した。海の中の石ころがいっぱいあったです。
海に入るまえ岩の中にいっぱいカニのぎょ
うれつがいました。ぼくはカニをとった
けど三回くらいカニに、はさまれました。
いたくて手をブラブラしてたらカニがと
んでいきました。遊んだあとはキャンプ
場に帰ってバーベキューのじゅんびをし
ました。火のじゅんびや食べ物のじゅん
びをしました。じゅんびが出来たら、い
よいよみんなでバーベキューをしました。
いろんな食べ物を食べました。

小6 N

しょうどしまにいったこと

ぼくはなつ休みにしょうどしまにい
きました。たんぼホームのみんなとい
きました。車とフェリーで行きました。一
日目は海水浴をして夜はみんなでバーベ
キューをしました。キャンプじょうでし
たので、みんなでわいわいさわいました。
バーベキューのとちゅうにNくんがねま
した。ぼくはまだ肉を食べていました。
たまねぎがあまくておいしかったです。
ソーセイもおいしかったです。ねると
きねむれませんでした。あさごはんは、
やきそばを食べました。それからゆうべで
あそびました。おにぎりをしてあそび

ました。そのつぎにまたうみにいきました。かえりにせとうちげいじゅつまつりのへんてこなたてものがありました。つぎにさるのくにいきました。Ｙくんのせなかにさるの手のあとがついていました。そのときNくんのお茶がさるにとられました。ばくはさるとしやしんをとろうとしたけどこわくてとれませんでした。クジャクのはねがあったのでとりました。かえりも、車とフエリーでかえりました。よるごはんはかいてんずしを食べました。ばくは八こ食べました。たのしかったです。

小1 M

バーベキューをさくらとふじでしたよ☆

ふじホームとさくらホームでバーベキューをしました。お肉やかぼちゃやピーマン、さつまチップスやとうもろこしやウィンナーやおにぎりをみんなでいっしょに食べました。とてもおいしかったです。でも、やくのが一番たいへんでした。おやつももって行きました。さくらとふじで食べました。朝からじゅんびをしました。食べた後はバトミントンをしたり、なわとびをしました。楽しかったです。学園でもよくでるけど外に出て食べるのもおいしいです。なのでまた行きたいです。

小3 Y

乳児院

鳥取子ども学園乳児部

ありがとうを忘れずに

どんぐりホームホーム長

武 安 純 子

乳児部ができて四年。あつという間に過ぎてしまっている今日この頃。

今年のどんぐりホームはKちゃんの一ヶ月の入院、職員の入替えなどあり、まだ一年も経っていないのに一年以上過ぎた気分。

その中で一番の出来事は、Kちゃんの入院。子どもにとって何が大事かという事を皆が考え想い、同じ気持ちを持ち、一丸となり一ヶ月の入院生活を子ども達・職員共に乗り越えられた事。また、この間いろいろな方に支えられ、無事に手術ができ、退院ができた日の嬉しかった事。子どもより職員の方が大喜び。

ホームで生活する子にも落ち着かない生活・職員の体力の限界もありましたが、この入院をきっかけに、ホームの団結力も強まり、皆に支えられ助けられているからこそこの嬉しさがあるのだという事を改めて感じました。

今後も周りの人の支えがあるからこそ今の自分があるということ忘れず、

「ありがとう。」という言葉に出し伝えていきたいです。

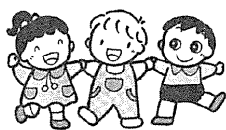


保育士 奥田 知行

七月から、どんぐりホームで保育士として一緒に生活しています。少しずつ仕事にも慣れ、子ども達の可愛い笑顔にパワーをもらい、癒され、日々楽しく、自分らしく関わっていきます。よろしくお願いします。

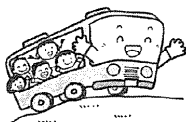
☆どんぐりホーム☆

夕食作りの様子です。



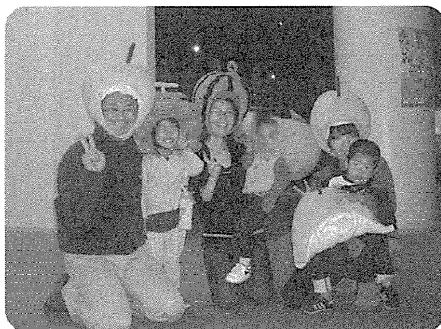
☆くるみホーム☆

姫路セントラルパークに行ってきました。



☆かりんホーム☆

聖園ベビーホームとの交流遠足に行き、梨記念館でパチリ!!



情短施設

鳥取こども学園希望館

入所部門

小学生から小学生会で楽しかったことや希望館に来てよかったことを書いてもらいました。

小学生会は希望館の小学生全員と、希望館職員数名で行う行事の一つです。

普通の家では沢山の人数でスキーをしたり、焼きいもをしたりできませんが、小学生会は色々な事を体験できます。時々小学生全員で集まり、しゃべったりできるのも、とても楽しいです。小学生会はとても、楽しみです。

のぎくホーム N・Y

九月十一日に、魚つりをした時に、とても印象に残ったことは、去年より、多く釣れたことです。去年は、二、三匹しか釣れなかったけど、今年は十一、十二匹よりも多く釣れました。来年も行くなら、絶対、今年よりも、多く釣りたいと思います。

わかばホーム T・R



希望館に来てよかった！

ぼくは、希望館に来て初めて釣りをしました。小学生会で、あじを十匹以上も釣れてよかったです。こんどは、ちがう所で釣りをしてみたいです。修立小学校にずっと通って友達もできて学校が楽しいです。希望館の生活にもなれてきて家でできなかったことができるようになりました。ずっと学校を休まずに行きたいです。

こばとホーム F・D

希望館楽しいよ！

希望館に来て、一番最初の時はとても緊張したけど、だんだん慣れて、優しい先生がいるから安心して生活できるようになりました。ホームでは、ホームの先生やお友達と遊ぶのが楽しいです。お友達もいっぱいできました。夏には、希望館キャンプに行きました。小学生会では、そうめん流しや釣りをしました。釣りで、毒をもった魚が釣れて、さわって痛かったです。でも楽しかったです。学校もがんばって通っています。これから、何でもあきらめずに最後までがんばっていききたいです。

しらゆりホーム S・M



通所部門

希望館通所部門（東中学校のぞみ分校・修立小学校分教室）の紹介

希望館には、希望館開設当初から通所部門があります。子どもが家庭から希望館に通ってくる部門です。

通所部門は、希望館の通所部門であると同時に鳥取市立東中学校の分校・鳥取市立修立小学校の分教室でもあります。その為スタッフとして、希望館職員の他、東中学校・修立小学校の教員も子ども達の支援・教育にあたっています。

教室には現在、中学生十五名、小学生三名が通っています。教育棟と呼ばれる建物の二階フロアで、まさに「小さな学校」です。

家庭から通っている子どもの方が多いのですが、ホームから通っている子どももいます。以前籍を置いていた学校に何かの事情で通えなかったり、適応できなかった子ども達に、比較的小さな集団での個別的な、特別支援を実施しています。教科授業は、子どもの習熟度に合わせた少人数グループに分けて行っているのが特色です。

教科授業とは別に、一風変わったプログラムもあります。調理、栽培（畑で野菜を育てたりします）、レクスポーツ、

華道、陶芸、写真（遠出して写真を撮ります）、パン作り、ヨガといった、グループワークと呼ばれるもので、これらは全員で楽しく取り組みます。

このような毎日を通して、一年を通じて四季折々に催す行事があります。春・秋の遠足はもちろん、冬にはスキー遠足があります。夏休み前のスポーツ大会、法人施設合同のクリスマス祝会、三月の卒業生を送る会といった大きな行事では、計画、道具作り、当日の役割実行などを子ども達自身で分担しています。その分子ども達にとって、より大きな思い出となったり、自信をつけてまた一歩成長するきっかけとなったりしているようです。



保育所

鳥取みどり園

園長 山本 恵子

園長に就任して九ヶ月。緑に輝いていた木の葉が赤色や黄色に染まり、一段と美しさを増したものの風が吹く度に、一枚また一枚と舞い散る自然界の移り変わりの早さを身にしみております。この間みどり園では、四五行事（バザー、納涼祭、仕事会、運動会）が、催されましたが、大きな怪我や事故もなく盛大に終わることが出来、役員の方や保護者の皆様の多大なる協力が頂けたことに「感謝、感謝」の念で一杯です。子ども達も行事を終える度に、一人ひとりが役割を果たし、力を合わせることの喜びや大切さなどを学び、ひとまわり成長したように思っています。

さて現在一七三名の子ども達が元気に登園しております。天気の良い日には、どの組も外に出て移りゆく自然と触れたい、思いっきり体を動かして遊んでおります。また、手作りのカバンを持って秋探しに出かける散歩は、いろいろな発見があります。大人にとって些細なことでも、子どもにとっては大きな発見になる出来事が日々の生活の中に多々あるのを子ども達から教えられます。その一つひ

とつの出来事を大切にし、その日、その時しか味わえない感動を子ども達と共感できる、喜びあえる保育者でありたいと願います。

今年もクリスマスを待つ季節がやってきました。この時を心静かに祈りをもつて穏やかに過ごせるように努めていきます。



笑顔の花

いっぱいになあれ

中村 秀子

新年度四月より新たに支援センターに勤務することになってから初めての冬を迎えようとしています。三月に移転し、新境地でのスタートに最初は不安でいっぱいでした。そして初めて支援センターを訪れる子ども達もちょっぴり緊張した面持ちでお母さんの後ろに隠れたり様子を伺うようにじっと見つめたり…。時には職員の間を見たり遠く、人見知りをして泣き出す赤ちゃんもいますが何度か訪れるうちに少しずつ表情も和らぎ、今では笑顔も見られるようになってきました。こ

こでは子ども達の笑顔を囲むようにお母さん方も話に花が咲きます。同じ年齢の名札をつけた子どもさんを見つけて「何月生まれですか」「そんなことが出来るんですね」と互いに打ちとけ、日頃の育児に対する悩みや不安を話すことで「私だけじゃないんだ」と胸をなでおろし、リラックスして過ごせる和やかな空間となっているようです。

毎月行なう育児講座・親子教室では専門的な分野からの助言をいただき、また戸外活動や感動体験をおして親子でかわり、ふれあう機会を作っています。

子ども同士そしてお母さん同士がふれあい共に認め合いながらつながっていきけるよう仲立ちしていきたいと思っています。

鳥取みどり園行事

- 4月1日 進級式
3日 第60回入園式
23日 春の親子遠足（こどもの国）
保護者会総会
5月11・12日 蛭虫・尿検査
13日 健康診断（全園児）
6月6日 鳥取みどり園バザー
10日 時の記念日（時計店見学）
26日 参観日（保育参観・座談会）

- 27日 私立保育園保護者連合行事（ソフトバレーボール大会）
7月7日 セタまつり
8日 プール開き
27日 卒園生のつどい
31日 納涼祭
8月27日 プール納め
9月5日 仕事会（保護者会主催）
17日 風紋館ディスプレイ「敬老の日つどい」に出演（5歳児）
20日 修立地区敬老会（5歳児）
10月2日 運動会
7日 交通安全教室（保護者会主催）
13・14日 蛭虫・尿・検便検査
11月4日 健康診断
7日 私立保育園保護者連合行事（親子で楽しむリズム遊び）
10日 焼いも大会
16日 感謝祭
12月25日 クリスマス祝会
1月12日 伝承あそび（祖父母と一緒に）
22日 参観日（保育参観・講演会）
2月2日 交通安全教室（保護者会主催）
18・21日 作品展
3月3日 ひなまつり
10日 平成23年度入所児説明会・身体検査
15日 お別れ会
26日 第60回卒園式

診療所

「こころの発達クリニック」

今を生きる人と共にある

医療を目指して

院長 精神科医 川 口 孝 一

早いもので「こころの発達クリニック」がスタートしてもつ八か月が経ちました。児童・青年期の方だけでなく、中・高年期の方もたくさん来院されています。十二月中旬の今、初診予約を希望されても四、五月まで待つてもらわなければならぬ状況になっています。一人の患者さんの診察時間を短くすればもう少し多くの患者さんを診られるのかもしれませんが、私のやり方（無駄と思われる時間、話題を大切にしたい）ではそれは不可能です。今はそれが一番の悩み、ジレンマです。

来院される患者さんの主訴は様々ですが、皆さんは知覚・感情が豊かで感受性が強く、見え過ぎたり感じ過ぎたりで、悩み傷付き、病気になるれている方がほとんどです。長所と短所は裏表で、皆さん長所であるはずの個性で躓き、あるいは潰されそうになっておられます。皆さんの持つおられる病気や障がいの部分は大変で、私たちもそれと向き合うのは大変ですが、それを抱えておられる患者さんその人に私たちは逆に救われていま

す。不器用だけど懸命に今を生きておられる目の前のこの方に敬意を表さずにはおれませんし、愛おしささえ感じます。この方々と共にありたいと思うのです。

先日時々顔を出させてもらっている米子の「子どもの人権広場」の子どもたちの「しゃべり場」という座談会に参加させてもらいました。その時のその座談会のサブタイトルを広場のある高校生が「今を生きたい子どもたちからのメッセージ」と付けました。ビートルズのメンバー、故ジョン・レノンは「イマジン」の中で「僕たちは今のために生きていく」と歌っています。「生きる」とは、過去でも未来でもなく「今を生きる」とことなのだと思います。

医学は科学ですが、患者さんが求めておられるのは、科学としての医学だけではなく血の通った医療なのだと思います。目の前の患者さん（と言つより一人のひと「共にある」）この時を大切に、等身大の自分を忘れずに自分に出ることを自分らしくやって行きたいと思っています。幸いクリニックの他のスタッフも患者さんを一人の人として尊び愛おしく思ってくれていて、偏屈者の私の「今」に嫌な顔一つせず付き合ってくれています。そんなスタッフを誇りに思います。皆様も引き続きご支援よろしくお願い致します。

児童家庭支援センター

「子ども家庭支援センター」希望館

セラピスト 平 岡 朋 洋

最近の子ども家庭支援センター「希望館」には、学校や病院からの紹介ケースがよく入ってきます。過去にケースを通して関わった学校が増えたことや、こころの発達クリニックや希望館通所部門（分校・分教室）が同じ法人内にあることが大きいのだらうと思います。

児童家庭支援センターは、子どもや家庭についての相談を受ける機関です。当事者の方、関わる人・機関から、悩みや困っていることについて相談を受けることから始まり、安心や回復に向けて一緒に取り組んでいます。

取り組み方には、話し合い、通所指導、カウンセリング、心理療法、心理検査などを含めた査定、第三者専門機関としての学校などへのサポート、他機関との連携などがあります。どのような支援の形になるかは、相談者の思いの動きとケースの状況に応じてさまざまです。

「不適切な養育」という言葉があります。子どもが健やかに育つ環境を考えるとき、養育者や周囲で関わる人たちからどのように理解されてどのような関わりがあるのか、家庭や学校などの生活環境

がどのようにあるのかなど、支援においては適切な状況を検討し、適切な状況を目指して実践していると言えるのではないかと思います。

こころの動きや、取り巻く環境と発達の関係や関係性はとても複雑でダイナミックなものです。たとえば、発達障がいについては、周囲や本人の理解や受容への援助、養育・療育の環境調整、関係性の改善、ケアの必要性とそこに組み込まれた支援について、またそれらを整えていくためにコーディネートする者の役割が求められていると思います。

先日は、「どこにもわたしの居場所が無い」という子どもの訴えを聴きました。相談者の直面しておられる状況はさまざまですが、どの方にも、あの頃は辛かったです。よくやっていたなあ。あの頃を越えてこうしたいまがあるんだ、と考えるような未来があることを望みます。

◆子ども家庭支援センター「希望館」

【電話相談】

電話番号：〇八五七二二七四二五三

受付：平日九時～二十四時

※緊急の場合は、休日、祭日、時間外も二十四時間対応いたします。

【開所時間】

平日九時～十八時

自立支援ホーム

鳥取フレンド

『声』

児童指導員

鷲見 智明

日常の何気ない会話の中にも、想いの
カケラがちりばめられています。生活に
追われる毎日。過ぎてゆく日常。普段よ
りじっくり耳を傾けてみました。

「今はまでもですよ。フレンドに来てか
ら変わった。自分でやっていくっていう
ことがきっかけ。今は色んな仕事をして
みて、自分にあった仕事を探しています。
人に喜ばれる仕事をしたい。人に相談で
きたことがうれしかった。ツシの相談と
かめっちゃのりますよ。」

「月一回は料理の勉強がしたい。次の仕
事は、一年は続けたい。遅刻が課題。平
和に生きたい。今出来ることは高校卒業
と夜型を直す。荒れていたが先輩に助け
られた。恥ずかしくて言えないけど。」

「意見の食い違いがあつてしんどいこと
もあるけど、今の仕事は好きだ。時に
は厳しく、時には見守ったり。そういう
職員に対して、自分は無視したり、適当
に答えたり、そのときはムカつくけどず
べて自分のためになっていると思う。仕
事で人が亡くなるとき、家族の想いや、

その人がどれだけ愛されていたかを感じ
られる。そういう人達をみているから、
自分もそういう人になりたいと思う。」

「料理も覚え、自信になった。一緒に料
理を作るっていうのは良いですね。教え
てくれるから何とかなる。フレンド職員
に相談を聞いてもらい、感謝はしてい
るけど、迷惑になつてないかと思うと黙っ
ていようと思つてしまふ。これまで良か
ったことは一つもない。フレンドでの楽し
かったことしかない。」

「子どもの心がわかつていない大人が多
い。見た目で判断しすぎ。落ち着いたの
は、言葉で伝えられるようになったから
もある。一番落ち着いたときに、昔の事、
一から考えて、親みたいになつたらいけ
ん。大人が悪いけどそれだけじゃダメだ。
自分もこのままじゃダメだと考えた。今
はフレンドのみんなに有難うと言いたい。
俺に出会つてくれてありがとう。生きて
きて今が一番。仕事しつてえらいけど
違ふ。これから俺の人生。」

何気ない一言にもはつとさせられる瞬
間が多々あります。表現すること、自
分を整理するきっかけとなることもある
ことでしょう。過去は変えられませんが
でも、今の皆を見ているとそれぞれ違つ
た良いところを持っています。これまで
の人生で育んできたものです。あなたに

しかないものです。そんな自分を大切に
してほしいです。もつともつと自分を好
きになつてほしいです。喜んだり、
怒ったり、哀しかったり、楽しかったり、
色々あるけれど、皆に出会えてありがと。

自立援助ホーム

倉吉スマイル

寮長 田村 崇

現在、倉吉スマイルでは七名の男子が、
それぞれの自立を目指し生活しておりま
す。今年の夏は皆さんも存じの通り猛
暑で、暑さ対策に苦慮しました。冷房は
事務室とリビングにしかなく、どうして
も眠れないという子ども達からの訴えが
あり、ルールを少し変え、寝苦しい夜は、
クーラーのあるリビングで眠ってもいい
事にしました。とは言つても全員が同じ
リビングで寝るスペースはないので、大
変だったと思います。来年の夏までに猛
暑対策を考えなければいけないと感じて
おります。そんな中、この夏も鳥取フ
レンドさんと合同で、バーベキュー大会
を佐治のたんぼり荘で行いました。とつ
ても暑い日でしたが、川の水は冷たく、
とても気持ち良かったです。いつもは仕
事や学校に疲れている子ども達ですが、
この日のみんなの顔はどことなく和やか

に感じました。実はみんなこういう行事
をもっとやりたいんだなと思いました。
正しい生活習慣を身につけることや休ま
ず仕事に行くことも、もちろん大切な事
ですが、余暇をいかに楽しくリラックス
して過ごすということも、もつと子ども
たちに伝えていかなければいけない大切
なことであることに気付かされた、バー
ベキュー大会でした。

地域若者サポートステーション事業

とっとり若者
サポートステーション

総括コーディネーター

内藤 直人

当所も早いもので、三年目を迎えまし
た。昨年度は延べ数にして約二〇〇件
を超える若年無業者（ニート・ひきこも
り等）の相談があり、それぞれの状況に
合わせた就労支援・社会参加の支援を行っ
てきました。今年度は、半年過ぎた時点
ですでに昨年度並みの相談が寄せられて
います。それだけサポートが世間に周知
されてきたということを嬉しく思うと同
時に、サポートを必要とする若年無業者
が増えていることにいっそう支援の充実
を図る必要性を感じています。

相談を受けていると、いかに現在の青
年が生きにくいかとつくことを感じず

にはいられません。来所する若者の中には対人関係に悩みを抱えており、社会の中で『自分は自分でよい』『社会に認められている』という感覚を持ちたいと思っ

ていてもそう感じる事ができないという方が多くおられます。また近年、発達障がいが社会的に取りざたされていますが当所も例外ではなく、発達障がいあるいはその疑いがある方が少なくないように思います。当所に来られる方の中には『障がい』という事に対して大人にな

るまで疑われることなく、いざ就職というときにいろいろな困難にぶちあたるといったケースも少なくありません。そういった方にどう支援をしていくのか…ということがサポステの課題の一つです。

また来所してくださる方はまだ良いのですが、学校を卒業あるいは中退した方のなかには所属を失ったことでひきこもってしまっているケースもあります。そういった場合、支援対象者が三十、四十歳になるまで支援の手が届かないといったこともあります。早期支援が必要なのですが、上手くいっていないというのが実情です。そういった課題に対応するために、今年度から高校中退者を中心とした訪問支援を実施しています。家庭訪問支援のみならず、学校への訪問を行って、中退した方、あるいは不登校傾向にあり

中退の可能性のある方へ働きかける支援をしています。まだまだこれから…といったところです。

以上のように、複雑な問題が絡み合っているため、スタッフも支援する中で迷うことが多々あります。ただ、いろいろな要因で、来所される方はスタッフ以上に迷いを持って来所されています。『自分は自分でよい』と思える感覚を来所される方に少しずつでも感じていただけるよう支援をしていきたいと思っています。

退所児童等アフターケア事業

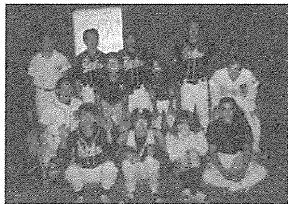
ひだまり

今年の春に、鳥取県内の児童養護施設

などの出身者のグループ「レインボーズ」が結成されました。「困ったときは一人で悩まず仲間同士で助け合い、また、イベントや行事を皆で楽しむ」をモットーに活動しています。「レインボーズ」という名前は、十数年前、野球が好きなO

Bと施設職員が、年齢

の関係なく集まり結成していた野球チームと同じです。二年前にひだまりが開所し、メンバーが再び集まったことがきっかけで、助け



合い、楽しみあう活動の団体として再結成した形となりました。

レインボーズは、社会的養護の当事者グループ全国ネットワーク「ごもつ」に参加しています。「ごもつ」とは、児童養護施設や里親家庭で暮らしのある人たちが中心になって活動する六つのグループ（栃木・東京・千葉・名古屋・大阪・鳥取）と、朝日新聞厚生文化事業団が結成した、当事者を応援する全国的な団体です。二〇一〇年三月から準備

をはじめ、四月に発足しました。以後、月に一度の定例会を開き情報交換をしながら具体的な活動について話し合っています。

「ごもつ」の最初の活動として「児童養護施設や里親家庭で生活をしている高校生と当事者スタッフが全国の仲間と出会い、富士山のふもとでいっしょに楽しみ、自信や希望をたくわえ、心がもつと元気になること」を目的としたピア・キャンプを開催しました。九月十八日から二十日まで、静岡県朝霧野外活動センターにて行われ、六つの県からスタッフ・高校生を合わせて五十名が参加しました。鳥取からは、レインボーズメンバー三人と、県内の児童養護施設で現在暮らし

元気になったのは、楽しい体験と気持ちを分かち合ったからではないでしょうか。レインボーズでは、この「体験と気持ちの分かち合い」を大事にしたいと思っています。先日、ひだまり開所当初から顔を出して下さっていた方の結婚式がありましたが、レインボーズメンバー数人が



参加し、ともに祝いました。また、年に数回、遠くの市から顔を見せてくれる女の子から無事出産したとの報告があり、とても嬉しく思いました。いい知らせを

聞くと元気になりますので、皆に知らせて分かち合いたいと思います。ひだまりは、レインボーズの事務局・窓口をしています。それに合わせて、今までボランティア職員がやっていた「いい知らせを皆に伝える情報発信の基地」という役割を手伝っていかうと考えています。

ゆつくりではありますが、着実に人の輪が広がってきています。この広がりを支えていくには、多くの方からの手助けが必要不可欠です。ご協力をいただいている多くの方々に感謝しながら、これからもより一層の充実を目指し努力していきます。ご支援よろしく願います。

当学園事業へのご寄付 後援会へのご加入に 感謝申し上げます。

前回報告以降、現在まで、ご寄付いただいた方々、
後援会に賛同（会費納入）していただいた方々は、
下記のとおりです。

心より感謝し、ご報告申し上げます。

寄 付 者 (2010. 5～11)

敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
玉 木 敏 久	柴 田 和 仁	中 川 博 迪	谷 垣 由 紀 恵
土 江 浜 代	小 橋 房 子	鳥 取 県 遊 戯 業 共 同 組 合	市 谷 経 哉 ・ 成 子
日本基督教団教育委員会	田 村 明 子	鳥 取 教 会 愛 真 幼 稚 園 合 同 バザー	松 原 菜 津 子
安 本 良 栄	鳥 取 こ ども 学 園 支 援 バザー	三 木 眼 科	藤 野 興 一
ラ ス ベ ガ ス 智 頭 店	三 木 康 二	(株) お さ き 住 環 境 設 備	(有) 造 園 土 木 植 清 園
富 士 一 郎	奥 勢 木 太 行	タ ニ グ チ ・ ヘ ア サ ロ ン	田 中 耕 自 院
雨 河 一 就	天 徳 寺 子	岡 田 レ ミ	乾 医 儀 衛 筆 夫 一
鳥 取 鶏 卵 販 売 株 子	田 中 和 昌	松 岡 京 子	田 中 儀 衛 筆 夫 一
沖 正 ・ か ね 子	岡 本 崎 教 智	植 田 公 良	山 根 一 剛
船 山 菊 枝	磯 田 本 教 智	岡 田 達 季 代 子	福 寿 須 美 江 ・ み どり
丸 谷 ク リ ニ ッ ク 義 子	森 澤 直 子	伊 林 敬 二 仲 子	杉 浦 功 勲
さとに田園クリニック	(株) プ レ マ ス パ ー ス	竹 本 本 仲 子	(株) 千 代 エ ン ジ ニ ア リ ン グ
森 澤 直 子	秋 崎 る り 子	高 槻 知 子	ホ ン ダ カ ー ズ 石 見 河 野 良 範
(株) プ レ マ ス パ ー ス	足 立 登 典 子	梅 里 伸 正 子	(有) 岸 田 ガ ラ ス 店
秋 崎 る り 子	や ま こ う 建 設 株 式 会 社	明 穂 整 形 外 科 子	福 井 間 悦 夫 令 子
足 立 登 典 子	鳥 取 少 年 鑑 別 所 子	本 部 友 堂 代 子	蔵 本 美 知 子
や ま こ う 建 設 株 式 会 社	益 田 京 子	坂 根 政 子	川 端 勇 文 裕 子
鳥 取 少 年 鑑 別 所 子	(有) イ ナ バ 葬 祭 セ ン タ ー	大 雲 院 地 蔵 盆 子 供 夜 店	中 田 中 喜 鶴 子
澤 田 孝 義 子	(株) 中 井 脩 子	柴 田 和 仁 院	小 谷 京 子
(株) 中 井 脩 子	あ す な ろ 保 育 所 職 員 一 同	グ ア イ ヤ モ ン ド 電 機	鳥 取 中 学 校 昭 和 32 年 卒 有 志
あ す な ろ 保 育 所 職 員 一 同	神 谷 哲 司	大 源 夏 美 子	中 本 久 美 子
神 谷 哲 司	鳥 取 南 更 正 保 護 女 性 会	伊 谷 周 一	沢 真 由 美 子
西 村 建 次 子	山 脈 1 1 回 生 夫 人	菜 の 花 総 合 法 律 事 務 所 弁 護 士 駒 井 重 忠	大 源 夏 美 子
飯 塚 幹 夫 人	ま ご こ ろ 庵 守 子	山 口 登 貴 子	浜 田 久 美 子
清 水 香 代 子	岩 下 矢 谷 学 園 才 人 子	パ ル ス 電 工 有 限 会 社	村 上 潤 子
学 校 法 人 矢 谷 学 園	(株) 二 シ 哲 子	ボ ン ペ イ カ メ ラ 店	(株) 懸 樋 工 務 店
(株) 二 シ 哲 子	米 本 英 子	江 谷 孝 明 子	山 田 金 属 代 子
杉 村 愛 子	福 島 雅 子	瀧 田 安 貴 子	難 波 富 貴 子
福 島 雅 子	原 老 原 光 瑳 子	松 田 章 義 ・ 悦 子	PC サ ー ビ ス 鳥 取 西 田 淳 子
海 老 原 光 瑳 子	(株) 田 中 鉄 工 所 敏 子	岩 崎 千 鶴 子	田 中 尚 子
(株) 田 中 鉄 工 所	(有) 谷 口 製 麵 子	谷 口 尚 子	氣 高 あ す な ろ
(有) 谷 口 製 麵 子	巻 田 年 弘 子		
市 谷 年 弘 子	鳥 大 医 31 足 ながおじさん ・ おばさん		
宮 脇 快 子	岸 田 洋 子		

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
オオ松保育園 久松保育園 久松保育園 平野辰郎・和江子 岸本順東洋輔子 川口律博孝 岸本加忠耀雄 星森下聖母学園 松の聖母学園 高草あすなろ 鳥取湖南デイサービスセンター	ホンド山陰中央谷 久松保育園長 久松保育園富吉子 尾崎三智子 フジオカシンヤ代 水戸千本正道 浄土宗本願寺谷本 石田恵子 豊福孝健 米北美津子 大藤浩司 伊藤浩司 わかさあすなろ 岩井あすなろ	久松保育園中川 久松保育園稲村 西尾美智子 山本大瑛子 河田瑛子 竹下努 米子信愛鍼治療院 松本剛典 佛岩田兼商店 入江一美 吉田由美 中尾充伸 河原あすなろ あすなろ会鳥取	久松保育園榎本 久松保育園小谷 増田千邦喜久雄 東田山喜久武子 岡田井道弘子 臼井下道弘子 山盛田あすなろ 盛和あすなろ 植田あすなろ 白兎あすなろ 鳥取西デイサービスセンター

物 品 寄 付 者 (2010.5～11)

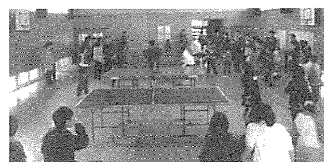
敬称略

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
U F O 扇町店 とっとりやじろべえの会 やよい館 百村眼科 学校法人矢谷学園 修立小学校 ぱにーに 鳥取ライオネスクラブ 加藤和徳 日本画グループ 鳥白岡文江 竹内宙	U F O 秋里店 信夫正規 ナルク ハロースズ シオンス社 佛弘久社 稲村秀一・まり あさひ園 松岡ひとみ ペーカリーマーケット 社団法人鳥取法人会	中村艶子 U F O 安長店 金田卓也 パンドラの箱 家電のきのした 佛山本ハウス工業 沢真由美 平尾眞眞 福田眞眞 ヤッホーキッズ事務局 無名氏	安藤香恵 海藤ひろみ 7sGATE UFO 興南店 佛鳥取葬儀社 佛ヤマネ機材 坂本恵清 社団法人恵清会 佐々木莞爾子 福田彩子 鳥取廣信青果

鳥取ライオンズクラブさんの紹介

鳥取ライオンズクラブさんは、1957年（昭和32年）に創立され、色々なアクティビティ（奉仕活動）を通して地域社会に貢献されています。

この学園においては、毎年卓球大会を開催し、子どもたちとスポーツを通しての楽しく心温まる交流をしていただいています。本年度の開催で21回目を迎えるこの卓球大会は、年が明けて間もない1月に開かれます。子どもたちの中には、この日に向けて前から練習に取り組んでいる子もいるほどで、皆大会の日を楽しみにしています。当日は、冬の冷たい空気の中、熱戦が繰り広げられます。珍プレイあり、好プレイあり…。高校生の参加者は、鳥取ライオンズクラブの皆さんや学園職員とペアを組み、ダブルスの試合をします。各部の決勝戦は、子どもたち、鳥取ライオンズクラブの皆さん、学園職員たちの声援で大変盛り上がり、雌雄を決した後には、皆で健闘を称え合います。



以上の活動に加え、春には子どもたちを招いてのお菓子作りの会も開いていただいています。

鳥取ライオンズクラブさんの温かいご支援の中で、子どもたちが元気にのびのびと活動をさせていただいています。

会費・寄付金は下記へお願いします

鳥取こども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取こども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込口座名義：社会福祉法人鳥取こども学園 理事長 尾崎淑子

振込口座：郵便振替 01490-9-9106 山陰合同銀行鳥取営業部 普通 3422812

鳥取銀行本店 普通 7645611

お 願 い

この「学園だより」は、当法人にご理解、ご協力いただいている皆さまに、施設での出来事、様子等を報告する意味で発刊しています。

同封しています寄付金・会費の振込み用紙は、あくまでも皆さまの便宜を考えてのことですので、ご理解いただけますようお願い致します。

今後とも、当法人を温かく見守って下さいますよう、心よりお願い申し上げます。